

# 学級担任のまなざし 11

Okayama Prefectural Education Center

R2.6.22[Mon]

## 「ほめること」

ほめられることで子どもは伸びるとよく言われます。

ある3年1組担任の先生も、クラスの子どもたちががんばっているところや良いところを日々見つけては、「すごいなあ。」「がんばっているね。」とほめるようにしています。年度当初は、嬉しそうな顔をする子どもが多かったのですが、次第に反応が弱くなってきていることを感じていました。

ある時、校長先生から「3年1組の靴箱がきれいに揃っていて、とても素晴らしい。」と言われました。担任は、早速帰りの会で「校長先生が、3年1組の靴箱がきれいに揃っていて素晴らしいと誉めていました。」と伝えました。すると、子どもたちから「やったあ。」と歓声があがりました。中には「先生もうれしい?」と言ってくる子どももいます。次の日から「先生、靴そろえてきたよ。」と報告する子どもが出てきました。

先生は、子どもたちの反応がとてもよかったことや、その後も毎日靴箱の様子を伝えに来てくれる子どもがいることから、同じことでほめるにも、ほめ方が大切だと感じるようになりました。

先生は数人の子どもたちの前で、ある子どもを取り上げ、「なんか最近、すごく自主学習がんばっているなあ。」と聞こえるようにつぶやきました。

その後しばらくして、クラスの中で自主学習をがんばる子どもが増えてきました。ほめられた子どもも、自主学習はもちろん、進んで発表する姿が見られるようになりました。